

川柳アート

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌）
「川柳マガジン」三元選者

108

特選



客席の美人を探しカメラマン
カメラマンも人間だからなあ。気持は分かるけど、不美人も時々撮影してあげなさいよ。なぬ？ カメラが嫌がるだろ……。
高岸サヨ子（八幡浜市）



メダル獲る前から騒ぎ過ぎたらう
前から騒ぎ過ぎたらう
平野陽介



転倒をするなど叱る骨密度
骨密度測定器という機械があるが、測定して数値ごとにアドバイスをしてはいかが。小魚を食べなさいとか、段差と旦那さんに要注意とかさ。
山本 亨子（宇和島市）



列島が雪の重みで筋肉痛
その前に、日本列島は原発から放射能がこぼれて弱っている。これ以上、地震に耐える自信はないぞな。
石原 康正（松山市）



温暖化不安に思う雪だるま
温暖化で南方の島国が水没することを心配しているらしいね。その前に自分たちが溶けるといふ不安もある。島国根性だなあ。
前田 重信（愛南町）

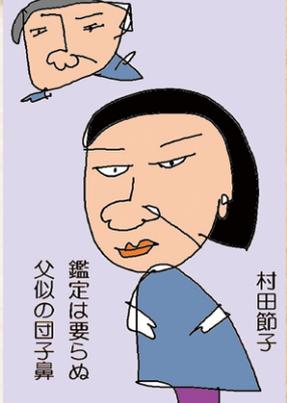
佳作



飛んでくる新顔ピーエム二・五
黄砂とか花粉症は季節。俳人たちは喜んで。花粉症で一句。黄砂で二句。ピーエムなんとやらは季節じゃないから俳人に嫌われているよ。
松本ゆき子（八幡浜市）



買いためをしたいが出来ぬ兎小屋
消費税の値上げ前の駆け込みだね。兎小屋をライオン小屋とか熊小屋にすれば買いため可能。この長屋は蛇小屋だ。大蛇小屋に建替えましょ。
小谷 治子（松前町）



鑑定は要らぬ父似の団子鼻
誰にも気に入らない部分がある。それは神様の思召しなんだから、親を怒ますに有効利用してみても如何？ 坊っちゃん団子の販売員とか。
村田 節子（八幡浜市）



重宝な「暮らしのメモ」

（東温市・63歳）
笑市民

愛媛新聞本紙に掲載されている「暮らしのメモ」を切り取り、台紙に貼って小さく製本している。少々手間がかかるが、ちりも積もれば山となる。のことわざ通り、日々の暮らしの中で役立つ。ある時、アサリの砂出し方法で、ザルの中に入れてそのまま水に一晩浸けるとよいとあり、妻に勧めたところ、本当にこの通りであった。年齢を重ねても知らないことは、家事については娘に伝授し、これを次には娘に伝授し、大いに活用したいと思う。

蚊がなくなような雲

（西条市・84歳）
かよ

夕方、夫が雨戸を閉める時、廊下から言った。「はよ、来てみ。輝くような雲じゃ」。私はきょとんとした。「蚊がなくなような雲って」。行ってみると、なんときれいな夕日が雲と一緒に輝いていた。聞き間違えたのだが、笑えなかった。こんなきれいな夕日を見せるために、私を呼んでくれたのだ。夫の耳元に「ありがとう」とささやいて、日が沈むまで眺めていた。

孫はかわいい

（砥部町・71歳）
M・N

子どもが転んだりして泣くと「痛い痛い飛んでいけ」とよく言うんだよ、と孫に言う。「どこに？」と尋ねる。とっさに返事に困った。その孫も小学5年生。先日「ばあちゃん、春を見つけたよ」とかわいい手にツクシを5、6本握りしめていた。子どもの成長は早いものだ。中学校になると慕ってくれなくなるといふが、いつまでもこのままでいてほしいものだ。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承